TGSW2017 東アジア若手研究者合同研究フォーラム プログラム

9月25日(月)

会場1 (201A)	
14:00-14:10	開会式
14:10-18:00	PART I
	シンポジウム 「2037年に人文社会科学研究は何ができるか／どのような社会的使命を担えるか。そのために大学人・研究者が現在すべきことは何か」 I ----- 司会：筑波大学 矢澤真人
14:10-14:20	趣旨説明 ----- 筑波大学 矢澤真人
14:20-14:50	共通テーマ① 2037年に「日本近代外交史」はどのような使命を負えるか -そのために「日本近代外交史」が現在すべきことは何か- ----- 台湾政治大学 于乃明
14:50-15:20	共通テーマ② 2037年に日韓における大衆文化研究はどのような社会的使命を負えるか -そのために日本文化研究者が現在すべきことは何か- ----- 高麗大学 杉本章吾
15:20-15:50	共通テーマ③ 2037年に日本語教育学は何ができるか／どのような社会的使命を担えるか -そのために大学人・研究者が現在すべきことは何か- ----- 筑波大学 小野正樹
15:50-16:20	議論時間
16:20-16:30	休憩
16:30-17:00	共通テーマ④ 2037年に経済学研究はどのような社会的使命を負えるか -そのために経済学研究者が現在すべきことは何か- ----- 筑波大学 平山朝治
17:00-17:30	共通テーマ⑤ 2037年に日本思想史研究はどのような社会的使命を負えるか -そのために日本文化研究者が現在すべきことは何か- ----- 北京外国語大学 郭連友
17:30-18:00	議論時間

9月26日(火)

	会場1 (201A)	会場2 (401)	会場3 (402)
8:40-9:55	PART2	PART3	PART4
	社会科学	日本語学・言語学	文学

	司会：北京外国語大学 郭連友	司会：筑波大学 橋本修	司会：筑波大学 齋藤一
8:40-9:05	研究発表 4-1	研究発表 2-1	研究発表 3-1
	「東北アジア」の国際関係理論 -階層、権威、そして日中関係-	シテイル構文の家族的類似性	女性向けサブカルチャーコンテンツの越境 -『僕と呪いと騎士様と』と『キング・オブ・プリズム』を通して-
	高麗大学 金承賢	台湾政治大学 翁晨禕	高麗大学 印旦妃
9:05-9:30	研究発表 4-2	研究発表 2-2	研究発表 3-2
	日本の脱亜意識と中国の台頭	スポーツ事象における比喻表現の日中対照	韓国と日本のコンビニ、店員、社会、文学 -村田沙耶香の〈コンビニ人間〉とパクヨウンランの〈コンビニに行く気持ち〉-
	高麗大学 金男恩	台湾政治大学 洪依帆	高麗大学 楊アラム
9:30-9:55	研究発表 4-3	研究発表 2-3	研究発表 3-3
	中国政治と日中関係 -光華寮事例を中心に-	始動アスペクトを表す補助動詞と本動詞の一考察	原発事故以後の文学的想像力 -多和田葉子の作品におけるパウンダリーの問題を中心に-
	高麗大学 李紹熙	筑波大学 呉佩珣	高麗大学 崔佳亨
9:55-10:10	休憩		
10:10-11:00	PART5	PART6	PART7
	日本語教育・日本語学	日本語学・言語学	文学
	司会：筑波大学 関崎博紀	司会：筑波大学 ヴァンバーレン・ルート	司会：高麗大学 杉本章吾
10:10-10:35	研究発表 1-1	研究発表 2-4	研究発表 3-4
	韓国人上級日本語学習者の作文における結束性の考察 -就職活動用自己PRの分析から-	発話と話題の転換から見るLINEテキストチャットの媒体特性	J. K. Rowlingの <i>Harry Potter</i> シリーズと小野不由美の『十二国記』シリーズにおける主人公像の共通点と差異
	高麗大学 井ノ上佐織	筑波大学 落合哉人	筑波大学 高橋優佳
10:35-11:00	研究発表 1-2	研究発表 2-5	研究発表 3-5
	日本語母語話者のチャット上におけるスピーチレベルシフト	「Yを形容(動)詞(連用形)他動詞」の意味構造 -“トイレをきれいに使う”を例として-	これからの「ひとり親」女性文学をめぐる -津島佑子作品の分析を中心に-
	高麗大学 橋谷萌賀	台湾政治大学 蘇文郎	筑波大学 今野安里紗
11:00-12:40	昼食休憩		
12:40-13:30	PART8		
	日本語教育・日本語学		
	司会：高麗大学 曹英南		

12:40-13:05	研究発表 1-3		
	中国における日本語専攻大学生の中国文化の表現能力に関する研究 ----- 北京外国語大学 秦小聡・雷林		
13:05-13:30	研究発表 1-4		
	「やさしい日本語」は誰にやさしいのか -自治体防災情報の実態調査から- 筑波大学 片山奈緒美		
13:30-13:40	休憩		
13:40-17:00	PART9		
	シンポジウム 「2037年に人文社会科学研究は何ができるか/どのような社会的使命を担えるか。そのために大学人・研究者が現在すべきことは何か」 II ----- 司会：筑波大学 小野正樹		
13:45-14:15	共通テーマ⑥		
	韓国における日本文学研究と今後次世代研究者育成の課題 ----- 高麗大学 鄭炳浩		
14:15-14:45	共通テーマ⑦		
	2037年に「日本文化研究」はどのような社会的使命を負えるか そのために日本文化研究者が現在すべきことは何か -中国の日本文化研究を中心に- 北京外国語大学 潘蕾		
14:45-15:05	議論時間		
15:05-15:15	休憩		
15:15-15:45	共通テーマ⑧		
	2037年に「東アジアにおけるトランスナショナル・モダニティー研究」はどのような学際的戦略と社会的実践のつながり方を持ち得るか そのために社会文化研究者と大学研究機関が現在すべきことは何か -廃墟の思想——越境する幽霊/キャラクターの現在-		

	台湾政治大学 黄錦容		
15:45-16:15	共通テーマ⑨		
	2037年に文学研究はどのような社会的使命を負えるか -そのために文学研究者が現在すべきことは何か- 筑波大学 齋藤一		
16:15-16:45	議論		
16:45-17:00	総括		

18:00-20:00	懇親会